

## 平成 23 年度研究成果情報

課題名：養殖ノリの新品種（新佐賀 4 号）の開発

### [背景・ねらい]

本県有明海のノリ養殖は、生産枚数、金額ともに9年連続日本一となっており、本県水産業の基幹となっている。しかしながら、単価低迷など厳しい状況にあり、高水温環境など、現在の環境に適応した高品質品種による安定したノリ生産が求められている。

このため、近年の高水温傾向に対応した品種を養殖品種の中から選抜育種法を用いて作出する。

### [成果]

- (1) 当センター所有の養殖品種を高水温条件下で培養し、異形率が低く生長が良い株を選ぶ選抜育種によって新しい品種（新佐賀 4 号）を開発した。
- (2) 室内培養での評価試験では、既存品種（U-51）に比べ生長が良く、異形率が低かった（図1）。

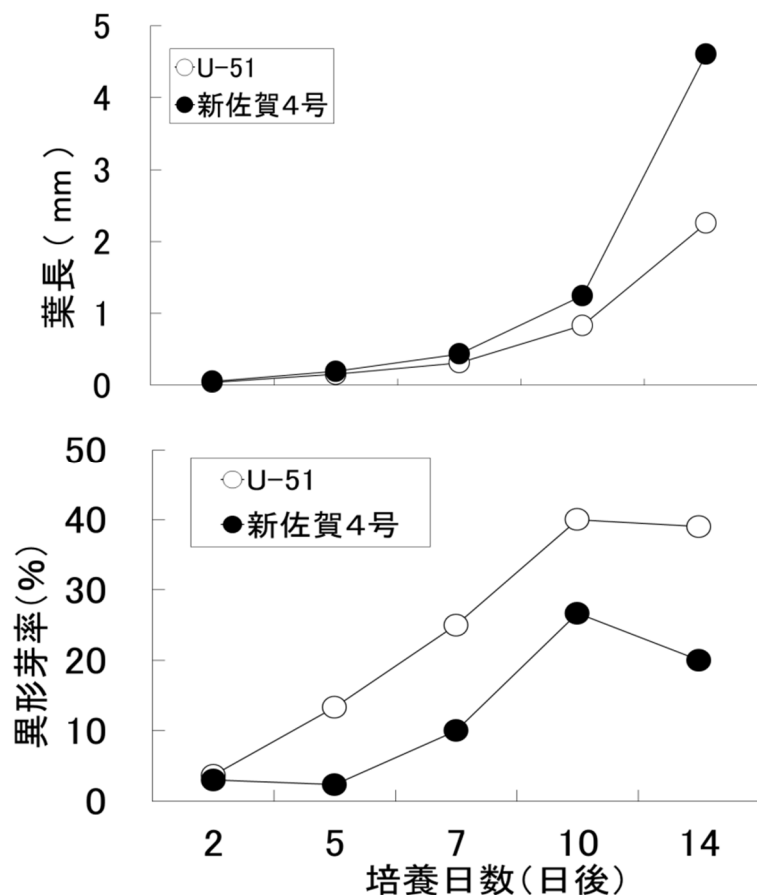


図1 高水温条件下（14日間で水温25℃→22℃）での葉長と異形率

(3) 野外養殖での評価試験では秋芽網期（10～12月）および冷凍網期において既存品種より生長が良かった（図2, 3）。また、乾ノリ製品についても、既存品種に劣らない色艶および味が認められた。

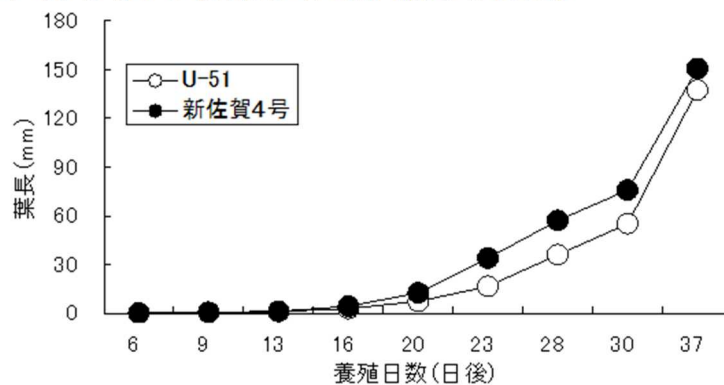


図2 秋芽網期の葉長



① 既存品種 (U-51)

新品種 (新佐賀4号)

図3 冷凍網期の葉体写真（開始から10日目）

(4) 開発した品種について、種苗法に基づいた品種登録を有明海漁協と共同で申請し、平成24年4月4日に登録された。

[課題・問題点]

- ・平成 25 年度から使用できるよう、フリー糸状体（元種）をなるべく早く増殖する。

[今後の対応]

- ・有明海漁協と連携し、漁業者への普及促進に努める。

[その他]

研究期間：平成 19～23 年

研究担当者：ノリ研究担当 三根 崇幸、山田 秀樹

品種登録：平成 24 年 4 月 4 日